

22地域職域の同窓生が集まって

●「第12回 地域職域同窓会責任者会議」を終えて！

本日13時30分から麗和会館（浦高敷地内）にて「第12回 地域職域同窓会責任者会議」が開催され、木村恵司同窓会会長(高17)、小島克也浦和高等学校校長(高30)以下55名の会員が一堂に会して22の同窓会からの活動報告などを伺いました。

木村会長のご挨拶「年末年始にかけて世の中ではさまざまな動きがあり、特に新型コロナウイルスの影響で経済界では大きな影響が出始めています。そんな中で母校ラグビー部が大活躍してくれ、皆さんも大いに盛り上がったことと思います。ただ予想以上の活躍で遠征費が不足しているそうですので、応援グッズの購入や支援をお願いします。また、グラウンドの人工芝化もまだ目標に遠いようですのでこちらも協力ください。同窓会では来月から人材ネットワークの動きが始まります。また法人化が具体的にになりますのでご協力ください」

小島校長のご挨拶「花園では関西浦高会の皆様を



はじめ多くのOBの皆様にご支援いただきありがとうございました。教員になって生徒たちの活躍に涙を流したことはなかったの

ですが、今回の花園でのモールによるトライでは青森山田戦、桐蔭学園戦でなぜか涙が止まりませんでした。木村会長からお話がありました浦高ラグビー部全国大会出場特別後援会に対して皆様からのご支援をお願いいたします。また、グラウンドの人工芝化についても在任中には達成することができず心残りですが、次の校長にバトンタッチして目標額6,600万円の達成と早期完成を目指してもらいたいと思います。2年間お世話になりました。同窓会は浦高にとってなくてはならない存在です。私も大宮浦高会の一員として同窓会活動に力を入れてまいります。ありがとうございました」

ここから22の地域職域同窓会から活動報告が始まりました。

スタートは昨年11月11日に27番目の地域職域同窓会として設立した「宇宙麗和会」からでした。宇宙麗和会は、浦中と浦高の卒業生で宇宙科学及び宇宙開発利用に係る科学研究、技術開発、法学的・経済学的研究、事業、政策又はこれらに関連する実務に関わったことがある人たちが構成されているそうです。昨年の設立総会には26名が出席されたそうです。

続いて「麗和ゴルフ会」。平成3年から毎年10月第1木曜日に鴻巣カントリークラブを会場として70～80名同窓生が集まって腕を競うOBゴルフ大会を開催している団体です。昨年の第29回大会実績が報告されました。

「三粋会」は同窓生の親睦と様々な分野の知識習得を目的に平成14年12月から毎月第2木曜日に例会を続けて今年1月で215回を数えたそうです。

「経営者麗和会」は、浦高を卒業し、会社経営に携わる人、個人事業主、会社経営を目指す人たちの集まりで、年1回在校生たちへの講演会を開催しているようで、去年はドローンの話だったそうです。



「昭和大学医学部浦高会」からは説明に立たれた事務局の渋谷勲さん(高35)からは、数年前に話題となった「浦高の共学化」に対する意見が陳述され、最後に「同窓会は常に母校の置かれている状況に対して危機感を持って臨んで欲しい」との要望がありました。唐突の陳述ではありましたが、その意見には共感する方が多かったと思います。

5つの職域同窓会からの活動報告が終わり、ラグビー部の花園出場を地元で迎えてくれた「関西浦高会」から地域同窓会の報告が始まりました。25日の宿舎陣中見舞いに始まり、27日の開会式、1回戦の玉島高校戦、12月30日の青森山田高校戦、1月1日の桐蔭学園高校戦と各地から乗り込んだ大応援団を迎えてくれたそうです。その他、囲碁・将棋の全国大会でも毎回応援を繰り広げてくださっている佐藤進・会長(高17)以下の会員の皆様には感謝です。

「霞ヶ関麗和会」は霞ヶ関官庁街等に勤務する(勤務経験を持つ)浦高出身者の集まりです。総会を毎年1回開催しているようで、トップが杉田和博内閣官房副長官だそうで、事務次官も数名いらっしゃるそうです。

続いては「西部浦高会」。都県境・荒川・西武秩父鉄道線に囲まれた地域をエリアとする西部浦高会は、地域密着型の活動を続けられているようで4月の花見会、8月には総会・講演会、10月の川越まつりめぐりなどを開催し、7月と11月には地元の「浦高百年の森」への参加と報告がありました。

「湘南浦高会」は、6月の総会、史跡ハイキングではここ数年「鎌倉散策旅」を開催しているそうです。私も一昨年伺いましたが、紅葉の鎌倉、江ノ島の遠景は目に焼き付いています。今年の総会では落語家による落語が行われるそうです。

「東京浦高会」は、9月の総会と1月の賀詞交歓会、ゴルフ会が行われているそうです。会員は東京都在住、在職、出身者だそうで、他地域同窓会に参加されている人もいます。

「古河麗和会」は、21回卒業生（今年還暦世代）を最後に浦高への通学区から外れたことで、浦高強歩大会（通称、古河マラ）のコール（最終関門）設営も難しくなるとのことです。学校との話合いで浦高伝統の古河マラが継続することを祈ります。

「秩父浦中浦高会」は、大正9年創立の同窓会、昭和45年に西武鉄道が開通して以来、都内が通学範囲となり私立高校への通学者が増えたそうです。ここでも会員の高齢化が課題で総会は隔年開催となっているそうです。

「志木麗和会」は志木市をエリアとした同窓会で総会の他に、西部浦高会や浦和麗和会など近隣同窓会との交流を深めているそうです。志木市の「田子山富士塚」が国重要有形民俗文化財に指定されるよう文部科学大臣に答申された話題も提供されました。

「和光麗和会」では、昨年からの総会・懇親会が復活したそうです。

「蕨浦高麗和会」は、年1回の総会・講演会・懇親会と新年会を開催しているそうで、2年に1度は懇親旅行を行っているそうです。

「春日部地区浦高会」からは、根本崇会長(高16)と幹事の伊藤貴成さん(高47、出席者の中で最年少)と常任理事の私の3人が出席し、現在進めている「20周年記念誌」の作成やこれまでの周年事業、久喜麗和会との合同旅行などの報告をしました。

「久喜麗和会」は、総会、ゴルフ大会、古河マラの久喜関門応援、年間3~4回開催されるという麗和会勉強会では治水問題（農業と都市化の問題）、平和問題、松方コレクションの研究などを行っているそうです。

「岩槻蓮田白岡浦高会」は、総会・研修会・懇親会、古河マラの岩槻、白岡関門での応援などを行っているそうです。この地域は武州鉄道〔蓮田駅~岩槻駅~神根駅間、大正13(1924)年~昭和13(1938)年〕で繋がっていたエリアだそうです。なるほど。

「上尾浦高麗和会」は昭和46年に上尾浦中浦高会として設立され、20年前に上尾麗和会、数年前に浦高を入れて現在の名称になったそうです。年1回の総会やゴルフ会などを開催しているそうです。

「与野浦高会」は、年1回の総会・懇親会、新年会、また毎月第1月曜日に「一月会」を開催して親睦と情報交換を行っているそうです。さらに隔年でコミュニティ協議会の一員として地域貢献事業を開催しているそうです。ここ数年は健康をテーマとした講演会を開催しているそうです。

「大宮浦高会」は、昨年の総会で「プレオリンピック」をテーマとした講演会を実施し、地域貢献事業として「BONSAI ふれあいイベント」を継続して実施しているそうです。

最後は「浦和麗和会」は今年で25周年になるそうで、11月に総会・講演会、2月に新年会、4月・6月の研修会、ここの特色は同好会で囲碁を楽しむ会、自史史を書こう会、中国文化研究会、俳句やぶれ傘などが魅力的ですね。

今回は、「埼玉県立浦和高等学校同窓会 北本支部」「川口麗和会」「戸田麗和会」「県庁麗和会」「九州浦中浦高会」の5団体は欠席しましたが、活動報告を提出してくれました。



春日部地区浦高会の活動から...
2019年度の主な活動
 【2019年2月8日 地域圏同窓会責任者会議・史料】
 【活動報告】
 【賀詞交歓会】2019年2月3日(日)第18回賀詞交歓会 春日部市・やまや新館 28名参加
 【総会】2019年9月1日(日)第19回総会 春日部市・やまや新館 33名参加
 【作業の都ウィーンからの贈り物・音楽出張講座など】
 【2019年度の主な活動】

【百年の誇り参加】
 【春日部産の仕】
 【その他活動】
 【広報活動・会報「喫茶表」】
 【役員・事務局】

現在、春日部地区浦高会では「20周年記念誌」をまとめており、これまでの歩みを振り返ると、地域同窓会を設立して会員の親睦を図った時代(1~4年目)、会の結束を深めた時代(5~9年目)、地域貢献を始めた時代(10~13年目)、さらに地域文化として活動を広げた時代(14~19年目)というような区分が見えてきました。そして、本日の他地域職域同窓会の話の話を伺いながら20年前後で始まる世代交代、会員に支持してもらえる活動などについて考える機会をいただくことができました。感謝!